

令和6年度岩手県立花泉高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和6年6月26日（水）15：10～16：10

会場：会議室

出席者：

協議会委員 佐々木俊郎（花泉ロータリークラブ会員）

協議会委員 千葉 仁（花泉中央振興商店街協同組合理事長）

協議会委員 佐藤 千恵子（本校同窓会長）

協議会委員 菅原 美穂（一関市役所花泉支所地域振興課長）

協議会委員 小野寺 伸（老松市民センター所長）

校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任（代理：山本）、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事（代理：金）

次第

1 開会

2 校長あいさつ

3 学校評議員及び学校職員自己紹介

4 本協議会設置目的説明及び役員選出

〔副校長〕

資料説明P2～6

P3 岩手県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 第5条により会長に菅原委員、副会長に佐々木委員を事務局案として提案し承認される。

5 協議 ※以下、菅原会長が議長を務める

（1）「令和6年度学校経営計画について」

〔校長〕

資料説明P7、8

→拍手をもって承認される

（2）「令和6年度学校概況について」

〔副校長〕

学校要覧P12～14、会議資料P10～12を参照しつつ概況を説明

〔委員〕

現在、学校と地域の課題が重要になっているが、地域との連携において協力はスムーズに得られるか。

〔校長〕

地域の方々とは、こちらのお願いを聞いていただいたり、様々な活動に誘っていただいたりと協力できている。（例：花泉駅前のイルミネーション点灯式、駅構内への絵画の展示）

町の活性化には高校生の力は不可欠なので、今後も要望には応えていきたい。欲を言えば金銭面のサポートをいただけるとありがたい。

〔委員〕

ロータリークラブはコロナ禍を経て以前より活動規模が縮小している。以前このような活動をしている、などの声掛けがあれば活動しやすいので、情報を寄せてほしい。

(3) その他

なし

※議長退任

6 意見交換

〔委員〕

1年後に学校経営計画が目標に到達できるよう学校運営委員を通じて情報発信していただきたい。

ロータリークラブとしても応えられる部分には応えていきたい。

〔委員〕

商店街としてイルミネーションの活動には感謝している。駅構内の絵画はもっと多く展示されるかと思っていた。商店街では撤退したスーパーもあるなど、年々人が少なくなり少子高齢化の波には逆らえないと感じている。年2回の互市の知名度や集客を高めるような企画をしたい。売りたいもの（売れるもの）があれば花泉高校も出店できる。若い人の力を求めている。

〔委員〕

総合文化部はどのような活動をしているか。

〔総合文化部顧問より〕

- ・野球部の応援ビデオを制作（朝日テレビ 純情応援歌）
- ・高文連写真専門部 夏季写真コンテスト2名入選
文化系のコンテストに参加予定である。

部活動は全員加入か。

〔副校長〕

任意加入なので入っていない生徒もいる。

同窓会として、中学生に対する魅力になるものについては金銭面の協力は惜しまない。過去には制服の代金を同窓会から補助したこともあった。来年度は制服が一新するとのことで良いアピールになると期待するが、今後も中学生が花泉高校に行きたいと思えるものを考えていく必要がある。

〔委員〕

19年振りに花泉地域に戻ってきた。花プロ等で花泉高校との関わりができ、生徒が一生懸命活動していることを知ることができたが、そうでなければ、地元にながら伝わってこない部分が多いと感じる。情報発信し地域の皆さんに高校の取り組みを知ってもらうことがもっと必要だ。

〔委員〕

市民センターは昔の公民館単位で設置されており、地域共同体としての地域づくりを目的としている。花泉高校の生徒にはイベントサポーターとして地域の活動に参加してもらっている。社会人になってから若者を地域の活動に勧誘することは難しいと感じる。学生のうちから親しんでもらい、その延長線上で地域に残る若者がそれぞれの地域づくりに関わってくれることを期待する。

7 その他

(1) 今後の協議会予定について

資料の通り

〔副校長〕

議事録の公開について

学校のホームページに議事録を掲載することについて委員に説明する。公開する際には個人名は控えること、一部発言をまとめ意図とかけ離れない程度に要約することを伝える。

8 閉会